

数理解析研究所講究録 22

位相解析的方法による偏微分方程式  
論研究会及び散乱理論の数学研究会  
報 告 集

京都大学数理解析研究所

1967年5月

「位相解析的方法による偏微分方程式論の研究会」

1966年12月17日, 18日.

「散乱理論の数学研究会」

1966年12月19日, 20日.

## 報告集

### 目次

1. Uniqueness in Cauchy Problem ..... 1  
京都大学 林田和也
2. Finite Type System of Partial Differential Operators  
and Decomposition of Solutions of Partial  
Differential Equations ..... 10  
京都大学 松浦重武
3. Kowalewski 系に対する Cauchy 問題について ..... 18  
大阪大学 山本 稔
4. Dissipative wave equation に関する  
極限振幅の原理について ..... 27  
京都大学 望月 清
5. 二階楕円型偏微分作用素の分散中の定義域について ..... 34  
東京大学 藤原大輔
6. Boltzmann 及び Schrödinger 作用素の固有値問題 ..... 45  
京都大学 内山 淳

7.	発展方程式の解の $t \rightarrow \infty$ における漸近的性質	.....	53
	東京大学	増田 久 弥	
8.	散乱の理論における定常的方法について	.....	65
	京都大学	浅野 潔	
9.	Sobolev 空間の埋蔵定理の証明について	.....	77
	京都大学	村松 希 延	
10.	Friedricks-Berezin の理論と BCS reduced Hamiltonian のスペクトル	.....	88
	神戸大学	麦 林 布 道 加 藤 裕 輔	
11.	場の理論における散乱理論	.....	104
	京都大学	荒 木 不 二 洋	
12.	超函数と定数係数偏微分方程式	.....	127
	東京大学	小 松 孝 三 郎	